

公明党さいたま市議団の

平成29年度予算編成並びに施策に対する要望書 を清水勇人市長に提出!



本年11月4日(金)、公明党さいたま市議会議員団は「平成29年度予算編成並びに施策に対する要望書」を清水勇人・さいたま市長に提出しました。

この要望書は、「住み続けたい魅力あふれる都市」「災害に強い都市づくり」「シニアが活躍する都市」「女性が活躍する子育て教育都市」「市民の健

康づくりサポート」「安心して住み続けられる地域」「都市を支える産業の振興」「障がい者の自立と生活支援」「市民サービスの向上と行政改革」という9つのテーマ・61項目にわたる施策要望であり、さまざまな市民や団体から寄せられた声をもとに市議団が何度も検討を繰り返して作成したものです。

その主な内容については、2～4面に詳しく紹介しております。

9月定例会の代表質問に小森谷 優議員、松下 壮一議員が登壇

小森谷 優議員の主な質問と答弁

被災者支援システムの導入を!

質問要旨 災害時、被災者の援護を総合的かつ効果的に実施する基礎が被災者台帳であり、その先進事例として有効性が認められているのが被災者支援システムである。罹災証明書の発行、支援金・義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入退去など被災者支援に必要な情報を一元的に管理でき、被災者支援業務の効率化、公平性の確保も図ることができる。本市でも導入するべきである。



答弁要旨 本年4月に発生した熊本地震では、罹災証明書の発行が遅れ、各種支援の実施に影響が生じたとの指摘がある。(本市でも)必要性は認識しており、議員ご指摘の被災者支援システムの導入に向けて全庁的な事務レベルでの検討に入ったところであり、国の財政的な支援も注視しながら取り組みを進めてまいります。

その他の 主な 質問項目

- 防災対策の推進・路面下空洞調査の計画的推進について
- 東日本の対流拠点整備について
- 学校トイレの全面洋式化について
- 地域支援事業の移行と高齢者のライフスタイル構築支援について

松下 壮一議員の主な質問と答弁

土のうステーションの設置を!

質問要旨 台風や一時的豪雨による浸水被害に備えて土のうが配布されているが、広範な地域が浸水被害にあうと市民の要望に答えられないことが多い。また、配布された土のうは自分で処理しなければならないが、その処理に困るケースもある。そこで、「土のうステーション」を設置し、必要なときに自由に持ち出したり、返却ができるようにすべきである。



答弁要旨 本市では大雨警報が発令された場合、南部および北部建設事務所が土のう配布などの要望に対応している。また、土のうは自主防災組織の資機材補助の対象にもなっている。議員ご指摘の「土のうステーション」については用地確保等の問題があるが、内水被害の頻度の高い地区について近隣の公共施設などでの保管を含めて検討したい。

その他の 主な 質問項目

- 産後ケアのニーズ調査および導入について
- 保育士の処遇改善や保育士確保の効果的支援策について
- 放課後児童クラブの待機児童解消について
- 交通弱者の移動支援について

平成29年度予算編成 並びに施策に対する要望書

における主な要望項目



住み続けたい魅力あふれる都市

交通が便利な住みよいまちづくりの推進



「東日本の対流拠点としての大宮」のまちづくりの推進

課題

「国土形成計画首都圏広域地方計画」において、本市は東日本の対流拠点として位置づけられた。その対流拠点にふさわしい大宮駅の機能高度化や大宮駅周辺のまちづくりが求められている。

要望

- ①大宮駅の東武線連絡通路沿いの改札口の早期開設等を含む、機能高度化及び周辺整備に向けた大宮駅グランドセントラルステーション化に積極的に取り組むこと。
- ②東北、信越、北陸、北海道の首都圏の玄関口となる優位性を生かした企業や大学のサテライトオフィス等の誘致調査を行いまちづくりに活かすこと。

都市のバリアフリー化の推進

課題

新バリアフリー法が制定されるとともに高齢化社会の進展に伴い、都市全体の移動空間のバリアフリー化を進める必要がある。更に小中学校施設はインクルーシブ教育の推進や障がい者に配慮した避難場所施設の両面から学校施設のバリアフリー化が求められている。

要望

- ①公共施設マネジメント計画、学校リフレッシュ計画と連動させた公共施設バリアフリー化計画を策定すること。
- ②市内全域のWeb版バリアフリーマップを作成すること。
- ③段差の解消や階段昇降機、エレベーター、みんなのトイレの設置など障がい者に配慮し、学校のバリアフリー化の推進に努めること。



交通網の整備推進

課題

市民の利便性の向上、市域外からの交流人口の拡大など経済活動の活性化となる交通網の早期整備が求められている。

要望

- ①首都高速大宮線の延伸の早期整備。
- ②LRT等中量軌道システムにより東西交通の整備推進。
- ③地下鉄7号線の岩槻までの延伸。



災害に強い都市づくり

首都直下地震や局所的豪雨に備える防災・減災都市づくりの推進

さいたま新都心の広域防災拠点としての整備

課題

東日本のネットワークの結節点であり、国の関東ブロック機関が集中する「さいたま新都心地区」は国の広域防災拠点として位置づけられており、広域防災拠点機能のさらなる整備が求められている。

要望

- ①新都心地区への防災公園の整備、新たな防災機能を付加するための合併記念見沼自然公園の拡張等、広域防災拠点の機能を補完するオープンスペースの整備方針を策定し推進すること。
- ②広域避難の輸送手段ともなる長距離バス・観光バスのターミナルとなる「交通広場」の整備を早期に進めると共に周辺地域の都市計画道路の整備に着手すること。



防災都市づくりの推進

課題

切迫する首都直下地震などに対応するために、防災都市づくりを計画的に進める必要がある。また中心市街地の住宅密集地域の延焼リスクは高く、不燃化補助制度の創設などが必要である。

要望

- ①住宅の不燃化支援を含めた密集市街地の改善策を推進すること。
- ②実効性のある「通電火災対策」等を地域防災計画に盛り込み、自主防災組織による地域特性を反映した地区防災計画の策定を支援すること。

総合的な浸水対策の推進

課題

浸水対策として、下水道雨水幹線や流域貯留施設の整備等に加えて、高地から低地への雨水流出抑制策などの総合的な雨水流出抑制策を講じる必要がある。また、浸水マップに対応した被害軽減のための具体策を講じる必要もある。

要望

- ①低地への雨水流入を抑制するために、学校校庭貯留施設整備の推進等を含め、総合的な雨水流出抑制策を推進すること。
- ②浸水マップに対応する慢性的な浸水箇所をモデル地域とし被害軽減策を講じること。
- ③慢性的な浸水箇所のうち、地域住民のニーズがある場合には土のうステーションを設置すること。



シニアが活躍する都市

シニア世代が経験を活かし活躍する環境を整備



セカンドライフ支援事業の創設

課題

元気な高齢者の就労意欲は高く、これまでの経験や知識を生かした退職後の「第二の人生」での活躍の場を提供する就業支援や社会参画の仕組みが必要となっている。

要望

- ①「第二の人生」を地域社会で活躍するための就業希望高齢者には、就労支援のほかに創業支援、NPOやソーシャルビジネス等の活動支援をおこない、地域貢献や余暇活動充実を求める高齢者に対しては情報提供をおこなうこと。そして、これらの就労支援や活動支援のための（仮称）「セカンドライフ支援センター」を創設すること。
- ②家事援助サービスや地域見守り事業等、介護保険事業の地域支援事業等、高齢化社会に求められている分野での事業化、公共発注における優先調達等によるシルバー人材センターの職域拡大を図ること。

シニアの健康づくりの推進

課題

高齢者が自立した生活ができるよう、健康寿命を伸ばすことが求められている。

要望

- ①健康マイレージ制度を長寿応援ポイントに連動させ、65歳以上の高齢者も参加利用できるようにシニア向け制度を検討し、その導入を図ること。
- ②市民ニーズに合わせてうんどう教室とシニア健康体操教室を拡充するため、地域団体施設（自治会施設を含む）の協定利用や連携強化による適正配置（徒歩圏内）を図ること。

女性が活躍する子育て教育都市

女性の社会進出を応援し、安心して子育てできるまちづくりの推進



産前産後の支援の拡充

課題

核家族化と出産年齢の高齢化によって、出産前後の母親への切れ目のないサポートが重要となっている。

要望

- ①「妊娠出産包括支援センター」を早期に全区に配置するとともに、助産師あるいは保健師を常勤として配置すること。さらに、電話相談については24時間対応できる体制を構築すること。
- ②LINE@などのSNSを活用した妊娠・出産に関する相談が気軽にできる体制を構築すること。
- ③産後うつなど問題を抱えている要支援者に対する産後ケアのニーズ調査をおこない、ニーズに沿った産後ケア事業を検討すること。
- ④産後の母体回復やストレス軽減のため、上記要支援者以外の産婦のニーズ調査をおこない、ニーズに沿ったサービスの導入を検討すること。



総合的な待機児童ゼロ対策の推進

課題

待機児童ゼロに向けた市の体制を強化するとともに、保育所、放課後児童クラブに対する支援の強化が求められている。

要望

- ①認可保育所への不承諾数が多く見込まれる地域において、保育士や看護師の必要数が配置できないために受け入れ可能な定員数を確保できない施設に対しては、それらの確保のための特段の支援策を講じること。
- ②国が定める人員配置基準や面積基準に対応できる施設に対しては、基準を設けてそれが導入できるようにすること。特に、保育士配置の弾力化措置については、これを導入すること。
- ③認可保育所の補充入所における入所事務作業を適正化すること。
- ④放課後児童クラブの待機児童解消に向けて、小学校の空き教室などの活用や放課後チャレンジスクールとの連携などによる待機児童の受け皿拡大などを検討すること。



安心して住み続けられる地域

介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくりの推進

地域包括ケアシステムの構築

課題

介護入所施設の不足や自宅での介護を望む高齢者の増加から、住み慣れた地域で医療・介護・福祉等のサービスが包括的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められている。

要望

- ①地域包括支援センター（シニアサポートセンター）の役割が拡大しており、人員体制の強化及び急激な高齢化に備えて中学校区の設置数へと拡大すること。
- ②定期巡回・随時対応型訪問介護サービスの拡充を図ること。
- ③情報のクラウド化により情報共有を図り、多職種連携を推進すること。
- ④介護認定の迅速化を図ること。



交通弱者の移動支援

課題

現在、障害者向けの自動車燃料費助成制度や福祉タクシー利用料金の助成制度はあるが利用対象者が限定されている。そこで、より幅広く高齢者も利用可能な移動支援策が求められている。

要望

- ①高齢者や障がい者、妊婦、児童など、利用対象者を限定するなどして、デマンド型交通による移動支援策を実施すること。
- ②シルバー人材センターによって運用されている福祉目的の車両運行方法を見直し、より多くの方が利用できる制度に改めること。



次世代見守りシステムの導入

課題

現在の緊急通報システムは、本人が緊急通報ボタンを押すことで緊急通報がされるが、単身高齢者が増加していることから、見守りのための新型システムの導入が求められている。

要望

- ①熱・煙・ガス・人感等のセンサーを備えた新しい見守り型の緊急通報システムが開発されていることから、導入に向けた調査研究を進めること。
- ②見守りを希望する人に向けてはICTを活用した見守りシステム（岩手県モデル）の導入を検討すること。

「平成29年度予算編成並びに施策に対する要望書」における主な要望項目 ◀前ページからの続き

市民の健康づくりサポート

市民がいきいきと健康づくりに取り組むまちづくりの推進



スポーツ環境の整備

課題

「健康づくり」や「スポーツをしたい」という市民意識は高いが、グラウンドや体育施設の確保が難しく、学校や公民館の体育施設の積極的な活用が求められている。また市域の東西にはスポーツ施設整備が可能な土地が広くあることから、クラブハウスや宿泊施設の併設によるスポーツシュール(宿泊可能な総合運動施設)の実現が求められる。

要望

- ①「スポーツ施設整備基金」の創設や「スポーツ施設整備グラウンドデザイン」の策定など、市民のスポーツ環境整備に向けた取り組みを進めること。
- ②地域スポーツの振興と観光資源としてのスポーツの発信をめざすために、「スポーツシュール構想」を推進すること。
- ③創設された「スポーツ振興基金」を施設整備にも活用し、夜間照明施設等の計画的な整備を図り、市民がスポーツしやすい施設整備を推進すること。
- ④臨時グラウンドの維持管理予算を確保し、使いやすい施設として市民に提供すること。

がん対策の推進

課題

さいたま市は「がん対策の総合的かつ計画的推進に関する条例」を制定したことから、条例に盛り込まれた総合的ながん対策施策の策定や体制整備を図る必要がある。

要望

- ①がん検診の受診率向上に向けて、がん検診の重要性などを市民へ普及啓発するとともに、がんと向き合えるがん教育の推進に取り組むこと。小中学生向けにがんに関するリーフレットを作成すること。
- ②市民に対して、市のがん関連情報をまとめてホームページで提供すること。
- ③子宮頸がん検診にHPV併用検診の導入を検討すること。
- ④がんサバイバーに対して、アピアランス支援等、生活支援、就労支援、QOL向上に資する支援を検討すること。



一般質問や各委員会の質疑で市民の声を届ける公明党さいたま市議団



西区

うえ さんのぶ あきら
上三信 彰
【4期】

予算委員会、文教委員会、オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会(委員長)、政治倫理特別委員会



北区

たけやま ひろみち
武山 広道
【2期】

総合政策委員会、企業会計予算決算特別委員会(副委員長)、見沼田圃将来ビジョン特別委員会、医療提供体制・待機児童対策特別委員会



見沼区

こもりや まさる
小森谷 優
【3期】

議会運営委員会、保健福祉委員会、予算委員会、見沼田圃将来ビジョン特別委員会



見沼区

さいとう けんいち
齊藤 健一
【1期】

まちづくり委員会、決算特別委員会、広域の交通ネットワーク推進特別委員会、議会広報編集委員会



大宮区

みやざわ のりゆき
宮澤 則之
【3期】

副議長、保健福祉委員会、議会広報編集委員会(副委員長)



中央区

いのうえ しんいち
井上 伸一
【3期】

議会運営委員会、総合政策委員会、決算特別委員会、議会改革推進特別委員会(副委員長)、議会広報編集委員会



桜区

にしざわ れいこ
西澤 鈴子
【1期】

文教委員会、予算委員会、医療提供体制・待機児童対策特別委員会



浦和区

やなか のぶと
谷中 信人
【2期】

まちづくり委員会、予算委員会、大都市行財政将来ビジョン特別委員会、議会改革推進特別委員会



南区

まつした そういち
松下 壮一
【2期】

文教委員会(委員長)、企業会計予算決算特別委員会、大都市行財政将来ビジョン特別委員会、オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会



緑区

かみさか たつあき
神坂 達成
【2期】

市民生活委員会(委員長)、決算特別委員会、企業会計予算決算特別委員会、広域の交通ネットワーク推進特別委員会、医療提供体制・待機児童対策特別委員会



岩槻区

よしだ ひとし
吉田 一志
【2期】

市民生活委員会、決算特別委員会、広域の交通ネットワーク推進特別委員会(副委員長)



選出区

議員名
【期数】

所属委員会

